

学びのデザインシート(授業前)

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語／古典探究】

1. 対象(実施を想定する学校・生徒の実態の概要)

これまでの古典探究では、作品中の根拠となる表現をもとに、自己の考えを文章に表し、意見交換する活動を通して、古典や漢文に登場する人物の相関関係や人物像を詳細に捉え、作者の意図や処世訓を掴むことをめざした学習活動を積み重ねてきた。生徒個々が、現在の置かれた状況や立場から考える教材への視点(教材観)を持ち、先人の知恵を自らの実際生活に生かそうとする主体性が見られ、この教材から何を学ぶのかを常に考えながら、自己のあり方、生き方に繋げようとの姿勢が伺える。単に教材の内容を学ぶにとどまらない、この教材で何を学び、どう使うかを考えることのできる集団である。

2. 単元名「思想3 政治のあり方」(全6時間)

教材名「不死之薬 直躬 侵官之害 『韓非子』」教科書(精選 古典探究 漢文編 東京書籍)

3. 単元の評価規準

①知識・技能	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解している。古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。
②思考・判断・表現	必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について理解している。
③主体的に学習に取り組む態度	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、古典を読み、内容の理解を深め、作品の価値について考察している。

4. 本時の目標 省略

5. 授業展開【 本時 ・ 単元 】

解決したい課題や問い

中国戦国時代の国家アナリストになって、最強国家運営提案書を作ろう。

考えるための材料 教材A	考えるための材料 教材B	考えるための材料 教材C
不死之薬『韓非子』 「可」の用法の多様さを利用し、また世間の評判を気にする王の心理を見抜いて、巧みに王を諫める中射之士の姿を読み取り、確かな知識を獲得した、雄弁で有能な家臣のあり方を理解する。	直躬『韓非子』 羊を盗んだ実の父親を訴えた楚人を、親孝行者でも君主に背いたとして罰した君主と、一方で戦に三度行き三度逃げかえ帰った魯人を親孝行者だとし高位につける君主の姿から、君主の価値観、概念によって治世の風向きは180度転換し、君主の考えが国運を決定づけることを掴む。故に君主のぶれない覚悟や意志の重要性を読み取る	侵官之害『韓非子』 韓の昭侯が 眠る自分の健康を気遣い衣を掛 けてくれた典冠と、それを怠った典衣の両方を罰した理由を読み取り、絶対君主を支える官僚制下における、各職分徹底による越権行為と職務怠慢の禁止のあり方、治世の厳格さを理解する。
予想される生徒の学びの実態	予想される生徒の学びの実態	予想される生徒の学びの実態
「可」の用法を確実に理解し、臣下が使う言葉一つで国を治める君主の動向が変わること。果ては、民の心情の変化、国家の存亡にまで影響を与えることを理解し、古代中国において高度な知識を獲得した雄弁な家臣のあり方が、現代社会を生き抜くことに通ずると気づく。	実直ゆえに盗みを働いた実夫を訴えた楚人を罰し、一方で戦から三度も逃げ返った卑怯ともとれる魯人を親孝行者として高位につける。この極端な君主の姿勢から、民のささいな言動に反応せずに、己の治世への確固たる信念をもち、いかなる時もぶれない柱を持った君主のあり方が重要であると気づく。	良心、善意に従いよかれと思って王に衣をかけた典冠の行為が、同時に典衣の怠惰をあぶり出し、両者が罰せられた内容を読み取り、頑強な国家設立のためには、人情や倫理観といった日常生活における善は不要であり、非情なまでの職分徹底と厳格な越権行為の禁止が必須であると気づく。

対話と思考(対話を通じた協働的な問題解決のプロセス)

教材A「不死之薬」：「可」の意味を確実に理解し、文中における言葉巧みなやりとりの是非や賛否を討論する。結果、その行為が王に対する民の評判を損なうことなく、君主の威厳、信頼確保、ひいては国家存続への系譜であったものと理解する。

教材B「直躬」：羊を盗んだ実の父親を訴えた楚人を、親孝行者でも君主に背いたとして罰した君主と、一方で戦に三度行き三度逃げ帰った魯人を親孝行者だとして高位につける君主の姿から、君主の価値観、概念によって治世の風向きは180度転換し、国運を決定づけることを掴む。故に君主のぶれない治世の覚悟や意志の重要性を読み取る

教材C「侵官之害」：気づいた者が他者の仕事を助けることは非かを考え、意見交換する。同時に善には時に他者の怠慢を顕示しかねない危険があること、組織では特に注意すべきことだと気づき、仕事における職分徹底と越権行為禁止の不可欠、ひいては国家存続におけるそれらの厳格徹底を理解する。

学習の成果(予想される生徒のあらわれ)

中国戦国時代の国家アナリストになって、最強国家運営提案書を作ろう。

<p>不死之薬：臣下の知性・雄弁(知性に基づく雄弁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い知識、幅広い教養は国家を救う。・言葉一つで王を説得し、窮地を乗り切る湯弁さはすごい。・言葉巧みな行動だけど、結局君主を守り、国を救っている。 <p>《高い知識や教養に基づく雄弁さ、難局を乗り切る発想の転換力、臨機応変な行動力》</p>	<p>直躬：君主の泰然自若・覚悟(強いリーダーシップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちいち反応しない鈍感力も大事。・小さな事に君主が右往左往してはだめ。・ブレないリーダーの必要性・冷静に己の信念を持ち、物事を俯瞰する多角的視点が大事。 <p>《個人のつまらぬ行動に右往左往せずに物事の本質を見極め、ぶれない治世を断行する君主の覚悟と意志》</p>	<p>侵官之害：厳罰・強固な組織制度(職分徹底越権行為禁止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安易な善意は仕事には不要。・自分の持ち場は完璧に。・仕事に感情は不要。・一線を引いて時に非情な分業も不可欠。・将来自分が仕事をするときに役立つ <p>《臣下の謀反に繋がりがねない越権行為と職務怠慢を厳しく罰する必要性と人間の情の不要性》</p>
---	---	--

治世には確固たる覚悟と意志をもつ厳格な君主と、優れた知識教養をもつ雄弁な臣下が必要だ。有能な臣下の力が難局を乗り越える発想の転換力を生む。また個人のつまらぬ行動に右往左往せずに物事の本質を見極め、ぶれない治世を断行する君主の覚悟と意志が重要であり、臣下の謀反に繋がりがねない越権行為と職務怠慢の恐ろしさを見抜き、物事の本質を見据え厳格な罰則制度を貫く君主の行動力も治世の鍵を握る。人間は情に流される弱い面を持つが、国家隆盛にはそれらを介入させない厳格な組織制度づくりが不可欠だ。